

# 学校だより あしたか 12月号

学校教育目標：㊦かよく ㊧しこく ㊨えむきに

令和4年11月25日

重点目標：「いいね！」をのぼそう

富士市立吉永第二小学校

吉永第二小学校ホームページ

<http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~p-yoshinaga2/>

## 📣 思いを生き生きと語る姿 & その思いを受け止めながら聴く姿が「いいね！」

“秋の日は釣瓶（つるべ）落とし”

私が物心ついた頃には、近所の家に井戸があったとしても、手押しポンプのようなもので水をくみ上げていた時代であり、つるべに水桶をつるして下に落とし、それを引っ張り上げていた様子を見たことがありません。しかし、何となくその作業が想像でき、秋の夕日が沈む早さと、暗くなる時刻の早さに季節が進んでいることにリンクします。

また、昔の人は、本当にものの例えが巧みだったと実感します。

さて、そんな秋の夕日とは対照的に、学校で学ぶ子どもたちの表情は常に輝いています。

特に11月は、本校が研究授業の会場となることが多く、他校から大勢の先生方が授業の参観に来る機会がありました。鋭い眼差しで授業を観察する他校の教員に見つめられ、緊張感も漂う中ではありましたが、子どもたちは心を開放し、とてもよい表情で学ぶことができ、たくさんの「いいね！」をいただきました。

特に、自分の思いや考えを友達にわかってもらおうと一生懸命伝えようとする姿、そして何よりもそれをわかってあげようと温かく聴く姿に、子どもたち同士で学び合おうとする姿勢が感じられました。さらに、それが仲間と学ぶ心地よさや楽しさにつながっているように思えてなりません。

先月末のニュースによりますと、文部科学省が、コロナ禍のストレスによって学校生活における様々な問題が増加していると分析したことを報道していましたが、本校の子どもたちの姿からはそのストレスをさほど感じられないことも幸いしています。それには、保護者の皆様の温かいご支援ご協力があるからであることも間違いありません。

まもなく師走を迎え、慌ただしさも感じられるようになりますが、これまでと同様に一人一人の学びをしっかりと支えていきたいと思えます。

校長 望月 敏行



### 📣 体力・運動能力向上に向けて

コロナ禍の体力・運動能力の低下が心配される中、第2回学校運営協議会の中で、委員の方から「土日に運動場を使ってはいけないのか。子どもも親も使ってはいけないと思っている。」という質問を受けました。

体力・運動能力の低下に関しては、今年度の体力テストの結果からも明らかであり、学校としても何らかの対策を考えなければいけないと思っています。

そこで、土日の運動場使用に関しては、運動上利用を事前に申請しているグランドゴルフ団体が使用していない日時（土曜日の9:00～11:00以外）であれば、保護者の責任のもと運動場を使用してよいことをお伝えします。

なお、「放課後も運動場で遊ばせたい。」というご意見もいただきましたが、安全管理上からすると難しい面があるため、そちらに関してはご容赦いただきたく存じます。

### 📣 学校給食費の公会計化と一括徴収管理制度について（再々続報）

令和5年度の徴収金額について、ほぼ決定いたしました。詳細については、改めて通知いたします。年間の総額、月当たりの徴収金額に上限が設定されていること、さらに物価が上昇したことから、今年度中に追加徴収をお願いした学年もありました。

来年度以降、これまで学年費で購入させていただいた教材等に関しては、必要性や金額を慎重に判断し、無駄な使い方をしないように心掛けていきたいと思えます。

### 📣 交通安全への呼びかけ

12月「師走」は、世の中の動きも慌ただしくなり、車の運転もスピードが出がちだと言われています。子どもたちの登下校時あるいは放課後における交通事故のリスクも高まる時期でもあります。道路の歩行や自転車の運転は、常に危険と隣り合わせにあることをもう一度自覚させ、ほどよい緊張感をもちながら通行させたいと思えます。また、12月15日（木）から12月31日（土）までの17日間は、年末の交通安全県民運動期間に当たります。保護者の皆様におかれましても、安全への高い意識をもって、お子様の安全・安心への目配りと気配り並びにご自身の交通安全をお願い申し上げます。

